

高齢者の豊富な知識技能を地域社会に

会報

# とっとり

第3号  
2000,8月号



国宝三徳山投入堂 オフィスYATO 矢藤益美氏提供

## 目次

平成11年度	健康シリーズ②	8~9
通常理事会・総会開催	シルバー人材センターの紹介	
事業実施状況について	(社)倉吉市シルバー人材センター	10~11
シニアワークプログラム事業実施状況	(社)境港市シルバー人材センター	11~12
平成12年度	会員の広場	13~14
事業計画及び事業実施状況について	講習会に参加して	14~15
鳥取労働局が誕生しました	役員交替について	15

# 平成十一年度

## 通常理事会・総会開催

### 理事 会

平成十二年三月二十七日(月) 午前十時三十分より倉吉シティホテルにおいて川口貞良会長以下十二名の理事の出席のもと、平成十一年度第四回通常理事会を開催しました。



当日審議された議案は次のとおりです。

第一号議案 退職手当規程(案) について

第二号議案 平成十一年度収支補正予算書(案) について

第三号議案 平成十二年度事業計画(案) について

第四号議案 平成十二年度収支予算書(案) について

その他

その他

### 通常 総 会

同じく三月二十七日(月) 午後一時三十分

より倉吉シティホテルにおいて川口貞良会長以下十八名及び、来賓として鳥取県商工労働部職業安定課長のご臨席のうえ、平成十一年度第二回通常総会が盛大に開催されました。当日審議された議案は次のとおりです。

第一号議案 退職手当規程(案) について

第二号議案 平成十一年度収支補正予算書(案) について

第三号議案 平成十二年度事業計画(案) について

第四号議案 平成十二年度収支予算書(案) について

その他

その他

その他



### 議 事 の 経 過

川口会長の挨拶と鳥取県職業安定課長の祝辞に続き、定款第二十一条により議長には和島利明氏が、また谷村俊郎・福井春光理事の両氏を議事録署名人に指名し、審議に入りました。

第一号議案で文字の一部訂正があったものの、全て原案どおり可決されました。



## 平成十一年度事業実施状況

### 一 役職員研修会

去る平成十二年一月二十六日倉吉市山根倉吉シティホテルにおいて、八十二名の方が参加し盛大に開催されました。



(社)全国シルバー人材センター事業協会鹿倉指導課長から「シルバー人材センター事業の今後の展望と課題」の講演をいただき、その

後同じく指導員兵庫忠義氏の「安全就業と就業開拓について」の講演があり、引き続き質疑応答・意見交換に入り、会員の安全就業についての意見交換もあり、今後の事業運営について大変参考となり、好評のうちに終了いたしました。

### 二 福祉・家事援助サービス推進事業職員研修会

平成十二年二月十七日大雪の中、倉吉市山根倉吉シティホテルにおいて、各センターの福祉・家事援助サービス事業担当理事並びに



担当職員等二十名が参加し開催されました。

(社)広島市シルバー人材センター主幹栗栖須美子氏から「シルバー人材センターが行うことからの家事サービスについて」の講演をいただき、その後、(社)米子広域シルバー人材センター事務局長宇野治巳氏の「介護予防・生活支援事業への取組みについて」に引き続き、(社)倉吉市シルバー人材センター事務局長川田壽雄氏の「地域に貢献できる福祉・家事援助サービスをめざして」の事例発表があり、その後意見交換、質疑等に入り活発な意見もあり、今後の事業運営に大変参考となりました。

### 三 第二回就業開拓推進委員会・安全就業推進委員会合同会議開催

本年度第二回就業開拓推進委員会・安全就業推進委員会合同会議を三月十日(金)倉吉シティホテルにおいて、各拠点センターの推進委員十二名出席のもとに開催されました。

会議では、十一年度上半期の拠点センター別の事業実績及び就業開拓について、各県の取組みや、独自事業等について説明の後、意見交換が行われました。

特に事務系職種を希望する会員の就業開拓を促進するための、技能検定(講習)をSPに取り入れる方向で検討及び、会員の事故防止の観点から、安全就業大会の開催やポスターの募集等の貴重な意見が提案されました。

四 平成十二年二月シルバー

人材センターの機能強化に関する

署名活動について

「署名者数三万二千八百八十四名」

シルバー人材センターは、高齢者が長年にわたって培ってきた知識・経験・技術・技能を生かし、地域社会の仕事の需要に添えております。また、生き生きと働くことで健康を保持し、生き甲斐を感じるシルバー事業は、高齢者の強い共感を得ると共に地域社会で高い評価を得て着実に発展し、全国会員数は、六十万人に達しようとしております。

今後、高齢者が大幅に増加することから、その就業ニーズが一層多様化する状況のもとで、さらに、シルバー人材センターの発展拡充を図っていくために、高齢化の進展、年金支給開始年齢の引き上げ、介護保険制度のスタートに伴う介護関連サービス需要の増大等により、シルバー人材センターの社会的な重要性が一層増すことから、国からの国庫補助金等の拡充強化と、都道府県及び市区町村の援助内容の充実強化を図ることを目的として、今年一月県下各シルバー人材センター役員及び会員による署名活動及び関係機関に要請行動を実施しました。



平成11年度シニアワークショッププログラム事業(第1種)実施状況

講習会名	開催場所	実施期間	講習日数	定員	受講者数	修了者数	就職者数	
技能講習	オフィス クリーニング	米子市	11. 8.23~11. 8.27	5	20	25	19	8
		鳥取市	11. 8.30~11. 9. 3	5	20	28	20	4
		倉吉市	11. 9. 6~11. 9.10	5	20	22	17	0
	パソコン	倉吉市	11. 9.13~11. 9.28	10	15	15	14	0
		倉吉市	11.10.28~11.11.30	10	15	15	13	0
		左 官	鳥取市	11.11. 8~11.11.16	6	20	15	15
講習	接客サービス	米子市	11.11. 8~11.11.12	5	20	24	18	1
		鳥取市	12. 2.14~12. 2.18	5	20	26	24	0
		米子市	12. 3.27~12. 3.31	5	20	17	15	0
	境港市	12. 2.21~12. 2.25	5	20	20	18	0	
技能講習小計			61	190	207	173	13	
介護講習	ホームヘルパー 3級	智頭町	11. 6.21~11. 7. 8	10	20	20	20	4
		鳥取市	11. 7.16~11. 8. 6	10	20	18	18	2
		倉吉市	11. 9. 6~11. 9.27	10	20	19	19	0
		米子市	11.11.10~11.12. 6	10	20	20	20	1
		境港市	12. 1.17~12. 2. 3	10	20	23	22	2
介護講習小計			50	100	100	99	9	
合計			111	290	307	272	22	



## 平成十二年度事業計画

### ☆基本計画

高齢者が長年にわたり培ってきた知識、経験等を十分活かし、高齢者が働く事を通じて社会参加し、生きがいを実感することの出来る社会の構築を目指す。

### ☆事業実施計画

#### 一 普及啓発活動の展開

①シルバー事業の理念を広く浸透させ、事業に対する理解と参加を得るため、あらゆる機会をとらえ普及啓発活動を行う。  
連合会機関誌（会報とっとり・年二回）の発行。

#### ②シルバー祭りの開催

「いきいき健康福祉祭り」に参加し、地域住民とのふれあいを通じて東・中・西部三地域で開催する。

③普及啓発用ポスター・パンフレット等を作成配布する。

#### 二 就業開拓推進事業の展開

シルバー会員がいつでもどこでも就業機会の提供が受けられるよう体制を整えるため、センター事業の受注可能な就業分野の開拓・拡大を図るため、

#### ①就業開拓推進委員会の開催

#### ②就業開拓推進委員の配置

#### 三 交流、研修事業の実施

シルバー事業の正しい理解を得、事業の充実・発展を期するため、事業に携わる役員及

び職員を対象に交流研修会を実施する。

#### ①経験交流大会の開催

適正な事業運営を進める事を目的に、全センターを対象に開催する。

#### ②連合会役職員研修会

連合会は、拠点センターの役員に対する研修等を体系的・計画的に実施し専門的知識及び企画力の養成を目的に、今年度は島根県と合同で、松江市において九月に開催予定。

#### 四 無料職業紹介事業

雇用ニーズに的確に対応するため、臨時的（短時間）且つ短期的な雇用就業を希望する高齢者に無料職業紹介事業を行う。

#### 五 福祉・家事等企画推進事業

この分野は今後、シルバー事業の重要な柱となることから、連合会として地域社会のニーズに十分応えることが出来るよう、業務に関するノウハウの普及、指導援助を実施する。

#### ①担当職員の研修

#### ②普及啓発

リーフレットを作成し普及啓発を図る。

#### ③情報の収集・提供

#### 六 指導相談事業

センターの設置目的に沿って適正な事業を行うよう、諸業務について定期的又は随時に指導相談を行う。

#### 七 シルバー人材センター等設置促進事業

未設置町村に対して、センターの設立を要

請するため、東・中・西部三地区に設置促進会議を開催する。

#### 八 安全就業対策推進事業

会員の安全就業が基本であることから、組織をあげた交通事故防止対策と重篤事故の撲滅を目指す。

#### ①安全就業推進委員会の開催

会員の事故防止対策に組織を上げて取組む必要から、安全就業推進委員会を設置し、基本計画を策定する。

#### ②安全就業研修会の開催

各センターの職員、安全就業推進委員の研修を通じて、安全就業について組織的に取組む。

#### 九 就業機会の確保を促進するためシルバー就業機会開発プロジェクト事業を実施する

#### ①就業機会開拓専門員の配置

連合本部及び活動拠点において、高齢者を就業機会開拓専門員として雇用するとともに、会員の就業機会の開拓を行う。

#### ②就業機会の開拓のための広報の実施

新聞等により就業機会の開拓のための広報を行う。

#### 十 シニアワークショップ事業

高齢者の雇用就業機会の確保を促進するため、高齢求職者等を対象に、地域の事業主団体等の参画の下、雇用を前提とした技能講習、介護講習を実施する。

#### 第一種技能講習十回

#### 第一種介護講習七回

# 平成十二年度事業実施状況

## 第一回通常総会開催

平成十二年六月十二日（月）、ホテルセントパレス倉吉において、平成十二年度第一回通常総会（決算総会）を開催しました。



当日は、鳥取労働局職業安定部長、鳥取商工労働部長のご臨席を賜り、各センターの理事長・事務局長など十八名の方が出席され、

川口会長の挨拶、ご来賓の祝辞の後議事の審議に入りました。

議事は平成十一年度事業報告、同決算報告、監査報告、定款の変更（就業機会の拡大等、法改正に伴うもの）などであり、慎重審議の結果いづれも可決承認されました。

## 第一回事務局長会議

本年第一回事務局長会議を八月十六日（金）鳥取厚生年金会館において開催いたしました。会議では平成十一年度事業実施状況報告及び平成十二年度事業計画について説明、意見交換等を行いました。

## 就業開拓専門員及び相談員等研修会開催

平成十二年度、各配置活動拠点の就業開拓専門員が配置された事に伴い、合わせて各シルバー人材センター相談員四名を含めた研修会を六月二十一日（水）ホテルセントパレス倉吉で開催しました。

研修会は、(株)木子広域シルバー人材センター事務局長宇野治巳氏より「シルバー人材センター事業の概要」について説明をいただき、また各シルバー人材センター事例発表及び意見交換等を行いました。

## 平成十二年度シニアワークプログラム事業（第一種）実施計画

シニアワークプログラム事業は、労働省から委託を受け、高齢者の雇用就業の機会を確保することを目的に、事業主団体等の参画のもと、技能講習や介護講習会を実施するものであり、平成十年度より実施しています。

平成十二年度も引き続き次の表のとおり技能講習十回、介護講習七回の実施を計画しております。

（注）講師、会場の都合により、講習内容、日程が変更になることがあります。

講習名	開催場所	定員	開催予定月	開催日	
技能講習	観光ガイド	20	7月	9	
	接客サービス	20	7月	5	
	パソコン(中級)	20	9月～10月	5	
	オフインス	15	9月～10月	10	
	クリーニング	20	10月～11月	5	
	力ニ加工官	20	10月～11月	5	
	左	20	11月～12月	10	
	パソコン(初級)	20	11月～12月	6	
	技能講習小計	200			
	介護講習	ホームヘルパー2級	20	6月～7月	20
		20	11月～12月	20	
ホームヘルパー3級			20	5月～6月	10
			20	8月～9月	10
			20	9月～10月	10
			20	1月～2月	10
			20	2月～3月	10
			20	2月～3月	10
介護講習小計		140			
合計		340			

## 鳥取労働局が誕生しました

四月一日から、労働省の地方機関であった鳥取労働基準局、鳥取女性少年室、鳥取県職業安定課・雇用保険課が統合され鳥取労働局としてスタートし、所在地、内部組織及びシルバー人材センター業務の役割分担は次のとおりとなりました。

### ◎所在地

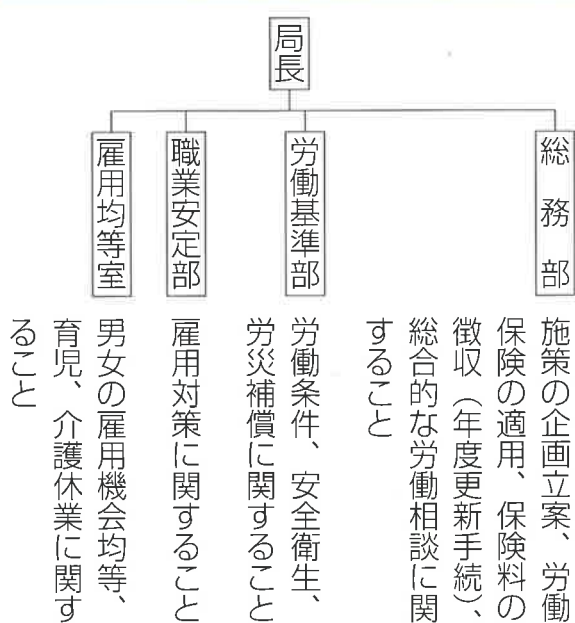
東町庁舎（総務部・労働基準部）  
〒六八〇一八五二二

鳥取市東町二丁目三〇二

扇町庁舎（職業安定部・雇用均等室）  
〒六八〇一〇八四六 鳥取市扇町二二一

山陰合同銀行鳥取駅南ビル三階

### ◎内部組織



◎シルバー人材センター業務の役割分担  
○鳥取労働局職業安定部

職業対策課（高齢者対策担当官）

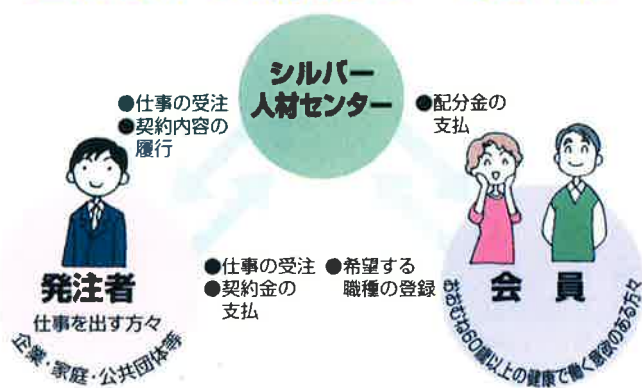
- ・国費補助金の申請、交付等に関する業務
- ・シニアワークプログラム事業に関する事業
- ・シルバー就業機会開発プロジェクト事業に関する業務

○鳥取県商工労働部

労働雇用課 雇用政策室

- ・県費補助金の申請、交付等に関する業務
- ・シルバー人材センター連合会及びシルバー人材センターの指定、指導、監督に関する業務
- ・公益法人（法人シルバー人材センター）の認可、指導監督等に関する業務

## ■シルバー人材センターのしくみ



シルバー人材センターでは  
高齢者の知識・経験・技能を活かした  
様々な仕事を行っております。

### 事務分野

筆耕 宛名書き 賞状  
書き 書類・伝票整理  
調査事務など

### 専門分野

編集・校正  
教育指導など

### 技術を必要とする分野

簡単な大工 左官等  
繕修理 家屋内外の塗  
装 庭木の剪定 消毒  
ふすま・障子の張替え  
ワープロ文書等作成など

### サービス分野

家庭介助 家庭内の掃  
除 買物 食事の支度  
子守り 老人話相手など

### 折衝・外交分野

ピラ配り デパート販  
売補助 店番など

### 管理分野

駐車場などの施設管理  
物品の管理など

### 屋内外の一般作業

施設・家庭の除草掃除  
荷物の移動荷造りなど

### 技能講習ホームヘルパー

養成研修も実施してい  
ます

健康シリーズ②

中高年の膝の痛みと改善法



山陰労災病院院長  
整形外科医

新宮 彦助

七十八歳になる姉が「時々膝が痛くなるが、どうしたら治るか」とたずねてきました。膝の痛みを生じる病気は、リウマチや関節炎など種々ありますが、中高年に最も多いのは、軟骨がすり減って起こる変形性関節症です。

関節の老化や使いすぎが原因ですが、体質にも関係します。

病気がすすむと膝に水が溜まったり、正座が出来なくなったり、両足をそろえて立った時、膝の間があいてO脚になってきます。

私の姉もO脚傾向です。

日本人は一般に膝の内側に体重が多くかかり、内側に痛みを生じることが多いです。

内側の関節軟骨が早くすりきれてきます。O脚が強くなり、負担が偏って炎症を起こします。

これを変形性関節症といいます。

すりきれてしまった軟骨を元通りに若返らすことは出来ませんが、痛みを軽減したり、

これ以上悪くならないようにすることはできません。

治療のコツ

一、体重負荷線を正しくする。(図一)

靴の踵の外側がすりきれた靴は早めに修理しておきます。

O脚を足底板で矯正します。

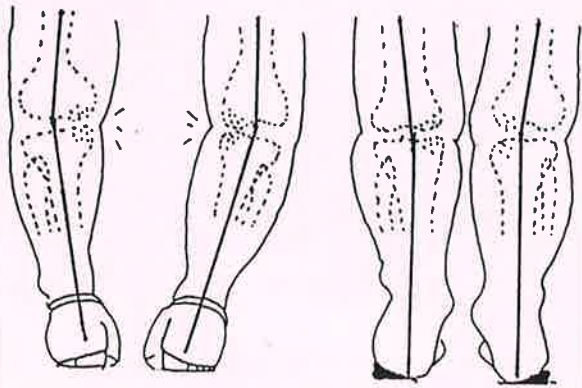
外側が厚くなった、くさび型の合成樹脂製足底板をつけておきます。

この足底板は各人の足の形にあわせて作りますので、病院や診療所の整形外科で型をとってもらって下さい。

ほぼ三〜七日で出来上がります。

裸足の時も、靴を履くときも一日中使用します。

図1. 外側のすり減った靴底は修理し、くさび型足底板で体重負荷線を正しく矯正する。



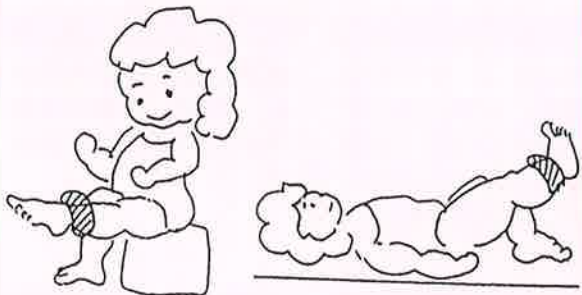
二、膝周りの筋肉を強化する。(図二)

膝を伸ばす筋肉が運動時に膝を安定させるために重要ですので、膝を伸ばす体操をします。

膝に体重をかけないように腰掛けるか寝る体制で、足の甲に一〜二kgの重りを乗せて足を上げ、膝を数秒間しっかり伸ばす体操を二〇回繰り返し返します。

テレビを見ながらでも毎日習慣として行います。

図2. 足に1〜2kgの重りを乗せて膝を伸ばす体操をして筋肉を強化する。





三、風呂に入って膝を暖め、関節の屈伸を十分に行う。

四、日常生活の注意として、重すぎる体重は減らします。

階段は手すりを使い、トイレを洋式にしたりして膝にあまり負担をかけないようにします。

体重を膝にかけないスポーツとして、水泳や自転車こぎなどがあります。

五、薬物療法

イ、炎症を押さえる薬の入った軟膏を朝夕膝にすり込む。

ロ、軟骨の栄養をよくする関節注射アルツを週一回四〜五回おこなう。

ハ、ステロイド剤（副腎皮質ホルモン）の関節注射を月一〜二回おこなう。

痛みには大層よく効くが、その反面あまりに頻回に行うとかえって骨を弱くすることがあります。

六、手術療法

イ、骨切り手術……膝の内側の関節軟骨だけがすり切れて、外側の軟骨がまだすり切れていない人におこないます。

楔型に膝の下で脛骨を切つて脚を矯正する手術です。

ロ、人工関節手術……痛みの強い関節変化の進行した人に行い、すり切れた関節軟骨のかわりに金属と合成樹脂を組み合わせた人工関節を挿入します。

優れた手術で、約一ヶ月位で一本杖を用いて自由に歩けるようになり、海外旅行も出来るようになります。

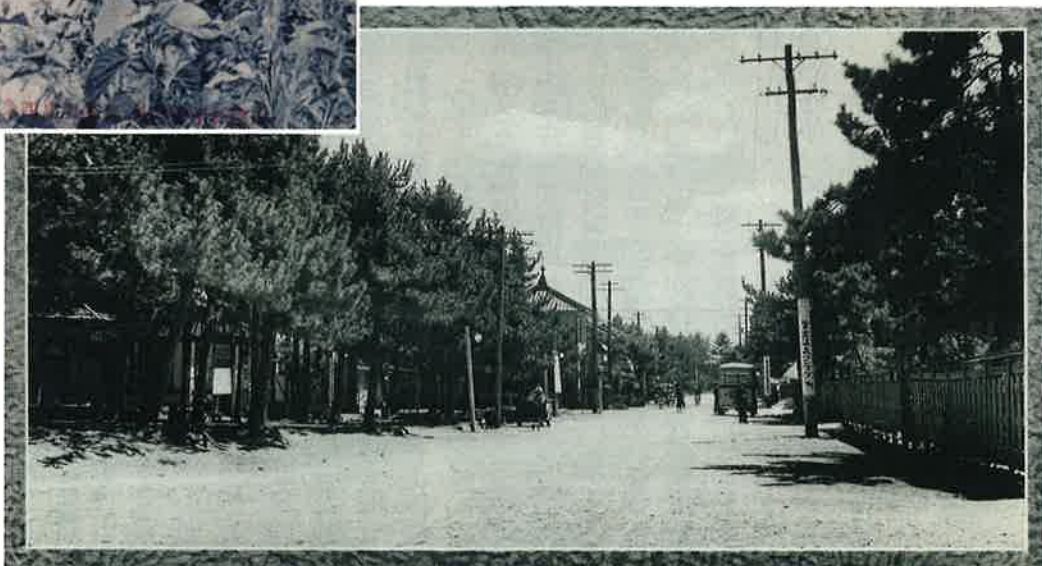


昭和初期の皆生温泉



(行發堂詩松)

米子市皆生温泉市街



山陰歴史館より

# シルバー人材センター紹介

## 地域に期待されるセンター事業を目標として

### (社)倉吉市シルバー人材センター

#### 一 センターの状況

(社)倉吉市シルバー人材センターは、平成六十二年十月に設立され十四年目を迎えている。その間、会員の増加と受託内容の変化に対応するために活動拠点である事務所は市役所庁舎の一室から現在地に移転して七年となります。

会員数は三百人台で推移していたが、六十歳前半層の新規入会者が急増しており、本年四月より四百人規模での運営体制を整備することとしております。

平成十一年度の事業実績は別項のとおりで、受注件数・就業率・就業延人日は大幅な伸びとなったが、契約金額は微増に終わっている理由として、経済動向の影響を受けて民間企業からの受注規模が縮小され、個人・一般家庭等からの短時間就業が増加した結果と分析しております。

#### 二 会員の組織活動について

センター事業の運営上の最も重要である安全就業を推進するために、就業先までの会員送迎、作業機械器具の運搬等の業務を事務局職員が担当するという方策が継続されていたが、平成五年度後半に至り、会員の活動体制を改革するために職群別の班編成を協議したが全面的な協力が得られず、一部の編成に終わっていました。

平成七年度後半に、会員相互の親睦を図る



竹炭窯出し

ための「会員互助会」が設立されたので、同代議員の活動状況から地域班長の職務を兼務することが適当として、平成八年度より地域班の活動体制が整い現在に至っています。

職群班についても、同年から六職群の組織編成ができたが、自主的運営ができるものは四職群であることから、関係会員に対して理解と協力を求めているところであります。

#### 三 安全就業の徹底

安全就業の推進が提唱されて間もない平成三年度に、全国シルバー人材センター協合理事長から「安全就業センター」としての表彰を受けたことから、理事及び会員代表で構成する安全管理委員会を中心として「安全が最優先のセンター活動」の基本理念の徹底について協議し、各職群から選出した安全対策員が定期的に安全就業推進状況についての情報交換並びに相互確認等は励行されていますので、安全就業意識は年々高揚しつつあります。

その例として剪定・草刈り・道路分離帯での除草作業では、①安全講習を受講したものの除草帽（ヘルメット）を着用することを義務づけているが、安全講習会には全員が参加しており、ヘルメットは全員が購入着用することになってから、同作業におけるの傷害保険適用事故は極度に減少しています。

#### 四 独自事業の推進



孟宗竹の伐採

独自事業として、平成八年度から「生ごみEMボカシ製造販売事業」と「刈払機替刃等研磨事業」を実施しているが、当センターの受託内容の主力は屋外作業であることから、冬期間の就業拡大確保は重要課題であるため、孟宗竹林の間伐作業を無償で行い、伐採材はセンターで販売処理することを条件とした独自事業を実施しています。

ところが、廃材の焼却処分は環境問題に抵

触する恐れがあるために、対応策を検討していたところ、独自事業奨励金事業が制度化されたことから、同事業の適用を受けて竹炭製造販売事業を実施することになりました。

竹炭窯設置場所の選定に日時を要し、近年にない降雪と重なり工期が遅延したが、三月中旬に一窯二百キログラムの生産能力を有する炭窯が完成し、四月十五日初窯出しとなったので報道機関等に公開したところ、反響も多かったが、最も需要の期待がある竹酢については製造施設未整備のため、目下制作準備中であります。

また、孟宗竹伐採により生じた枝葉は、毎年会員有志が竹ホーキを造り、市内小中学校に無料配布しているが、今年七月十二日に百本の贈呈式を予定しています。

会 員 数 四百十三人

(うち女性百九十六人)

受注件数 三千七百四十三件

就 業 率 八十四・七%

就業延人日 三万一千八百三十六人日

契約金額 一億一千七百五十六万五千元



二十一世紀を展望した魅力ある  
シルバー人材センターづくり

(社)境港市シルバー人材センター

#### 一 事業実績 (平成十一年度)

会 員 数 三百二十三人

受託件数 二千三百十三件

就業延人員 二万二千五百六十九人

契約金額 一億四百七十四万一千円



刈払い機取扱講習会

## 二 センターの財源

センターの財源は、受託事業収入、会費収入、補助金収入、寄付金収入、雑収入の五つの収入である。

財源基盤の確立の一助のため、平成十一年度に受託事業収入の内、事務費を五%から六%に値上げをし、更に今年度は、設立以来、年会費千円であったが、二千円に値上げをした。

## 三 センターの状況

境港市は、鳥取県の北西部、弓ヶ浜半島の北端に位置し、東は美保湾に、西は中海に、北は境水道をへだてて島根県美保関町に相對し、南は米子市と接し、三方を海に囲まれ、とくに白砂青松の続く弓ヶ浜は、東南にそびえる伯耆富士大山を背景に、風光明媚な景観を有しています。

また、日本海の豊富な水産資源に恵まれ、商港、漁港として、名実ともに日本海有数の港を有する特性を伸長しています。

(社)境港市シルバー人材センターは平成三年十月、男性百名、女性七〇名の百七十名の会員により設立しました。

会員規模は設立当初より一・九倍、契約金額は第二年度目(平成四年度)より二・三倍に拡大し、地域の要請に応えるため事業の拡大を図っています。

受託事業では事業開始当初から公共事業の

占める割合が高く、設立当初二年間は五十%を上回っていたが、近年では四〇%となり、個人・家庭からの委託が三十三%強と伸びている。

仕事の種類別では契約金額の六一・九%が「一般作業群」で最も割合が高く、次いで大工、塗装、障子・襖、庭木の剪定などの「技能群」が二十九・七%である。



1 種塗装講習会

受託件数では「技能群」が全体の六十四・七%、千四百九十六件あり、一件当たりの平均契約金額は二万八百円でシルバー人材セン

ターの目的である臨時的かつ短期的業務の特色がよくでている。

来年の十周年へ向けて更なる飛躍を目指しています。

## 四 センターの組織活動

理事会は、理事十四名で構成されており、年四回以上開催し、執行に関する重要事項を決定している。

会員組織は全員加入の地域班と任意加入の職群班とがある。

いずれも会員相互の親睦、連帯意識の高揚、就業場での各班にわたる協調など、運営管理のうえで重要な役割を担う組織として結成された。

地域班は小学校区単位と会員数増加に伴う小学校区内複数班の十地域にある。

地域班の活動は、情報の伝達や地域での懇親等を中心に取り組みがなされている。

職群班は、襖・障子班、剪定班、家事援助サーブス班、刈払い除草班、市受託業務班の五班があり、情報の伝達が互いに取れる班と難しい班とがあり、講習会や懇親会等で融和を図っている。

また、会員相互扶助及び福祉厚生を図る「会員互助会」を設置し、グラウンドゴルフ大会、カラオケ演芸会、親睦旅行、親睦教室を実施している。

## 会員のた場

### シルバー人材センター

#### 活動は私の人生

東伯町シルバー人材センター

田中善長

私は平成七年に会社を辞めて仕事が無くなると、暇を持て余し空虚な二年間でありました。

ところが丁度そのときに、シルバー人材センターの耳新しい話を聴き、早速設立総会に出席して会員となりました。

シルバー活動の第一歩は除草作業でした。亦草刈り機による草刈り等々、次々に作業を行って行くうちに三年目になりました。

設立当初は何にも理解がない儘に活動に参加して、配分金を受け取っていましたが、現在は配分金を貰うよりシルバー活動に参加の収入は、労賃とは違って会員相互の親睦を図ること、亦誠意と責任を持って作業をすることに、悦びを感じながら心掛けています。

シルバーに来て貰って助かった有難うの一言を聴く度に、エネルギーとなり作業が楽しく、健康に留意してできるだけ長く続けたいと心に決めています。

## まさに生きがい



郡家町シルバー人材センター

村田敏雄

大過なく定年退職しましたが、「人生は終わり良ければ全て良し」これからどう生きよいかと考え始めた矢先、私の町にシルバー人材センターが発足し、好奇心に燃える私は早速入会、庭木剪定にいどむことにしました。小さな枝でも切り落とすことには、相当の責任と勇気があるものです。

早速、県の高齢者大学園芸科に入学しました。

基礎から実習と学び進みながら、実際と異なる面にもぶつかり混迷感や挫折感も体験しましたが、七年目ともなる今は、おぼろげでも一本一本の木と話が出来るようにも感じ、自信のようなものを持てるようになりました。

「おかげでようくなりました」

「さっぱりし、生き生きしてきましたわ」と労われる声に、炎天下で汗を流したことも、肩や腰が痛んだこともふきとんで、心から充足感を感じます。

特に「また頼みますで」とか「今年もお願います」と言われることに生きがいのような幸福感と、明日への活力が湧く思いになります。

暇が出来た時、自分が手入れをした家々の

庭の様子をそっと観察してまわるのは無上の楽しみです。

また、他の業種で働く会員の方々と交流し、会話できることも楽しみの一つです。

こうしたことで、広い地域の人々家々に喜ばれ、社会に役立つシルバー人材センター万歳の心境です。

### シルバー交流センター



江府町

小田隆

江府町のシルバー人材センターが発足したのは平成九年、いま会員は六十九人、年間の契約金額は約七〇〇万ということで、仕事の多くは行政から出されたものだが、一般にも知られてきて町外からの注文仕事もある。

これらの仕事を仕入れて会員に振り当て、その後の事務処理一切の面倒を見てくれる町の社福職員の労苦は並大抵ではなからうが、お世話になる私達は、兎角家庭や地域に引籠りがちな同年配の者同士、仕事を通じて初めの出会い、お互いの技能や豊かな知識の発見など、その都度新鮮な驚きやよろこびを覚えることが多く、これは作業報酬以上の期待や楽しみの時間でもあり、シルバー人材ならぬ、シルバー交流センターの感もある。

このことは女性会員と仕事を共にすると、

休憩時間に行われる世間話、持参のおやつ交換、果ては、仲人役の引き受けなど小さな社交場であることにも気がつく。高齢者の労働問題、などと振りかぶらずシルバー人材センターを心の面から、ゆっくり眺めて見るのも面白い。

## 講習会に参加して

### ヘルパーへの挑戦



(南都広域シルバー人材センター)

加藤 紀

平成十一年十一月、シルバー人材センターの紹介によりホームヘルパー養成研修三級課程を受講することにした。

当時、テレビ、新聞等で介護の重要性が大きく取り上げられ多岐に涉って論議され、現在でも試行錯誤の状態が続けられている。

介護は、机上の空論で終わっては成らないし、又、一律に定義づけることでもないと思う。介護を実践しながら臨機応変に対処できるヘルパーでありたい、そんな気概を持ちながらの入門であった。

しかし、一抹の不安が無かったわけでもない。介護は女性がするもの、そんな概念が私の年代には少しばかり残っている。女性ばか

りの中で受講する事への気恥ずかしさで、躊躇いを感じながら講習会場に入った。

二十名の受講生の内、四名が男性であったことに驚き、そして安堵した事を覚えている。

初日に、それぞれが受講の動機を発表し合い、多くの人が家族の介護の為と答え、現実に見よう見まねで介護をしている人、近い将来せざるを得ない人が大勢を占めた。皆差し迫った危機感を持って受講に望んでいる。私自身、改めて気の引き締まる想いであった。

僅か十日間の講習であったが久しぶりで集中した勉強をすることが出来、それなりの知識を得た。そんな想いで最終日、日吉津デイサービスセンターでの実習に望んだ。

ただ与えられた事をするだけなのに何となく、ぎこちない。思っていた事が動作として表せない。我作り、もどかしく、不甲斐ない、それが最終日の感想であった。

実践する事の難しさ、だからこそ経験を重ねることの重要性、その中から、ひとつずつ掴んで行くしかない。

介護の目的の一つに自律と言つ項目がある。身体の機能の回復である。介護を必要とする人々との出会い、接し方、それぞれが異なったものとなるのは当然でありその都度、正確な判断と、その対処の仕方もちがってくる。正に、暗中模索の日々が続いている。

まず、人の心に容易に溶け込む術を身に付ける事、その人の痛みや苦しみを知り、何を望んでいるかを察知しなければならぬ。そ

の為には幅広い一般的な知識はもとより、ある程度の専門的知識の必要性を痛感する。

介護の門をくぐったばかりの私には、遥かに遠い道程に感じている。

誠実にそして福祉の精神を今一度思い起こし、自分自身を戒めながらのこの頃である。

### 介護養成研修を受講して



(米子広域シルバー人材センター)

亀 家 朗 介

本年度から介護保険制度が導入されましたが、日頃からの関心もあって、一月十七日から十日間境港会場で「ホームヘルパー養成研修三級課程」を受講しました。

受講者はその年齢からも家族介護の経験者が多く、各講師の講義や「さかい幸朋苑」の施設実習、ホームヘルプサービスの同行訪問、デイサービスセンターの見学等みんなが本心に熱心に受講されたと感じました。

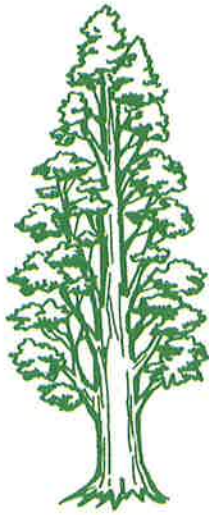
三級ヘルパーですから勤務時間の少ない非常勤ヘルパーとして従事することとなりますが、研修修了者の中には常勤勤務を目指して二級ヘルパーを希望する方も少なくないようでした。

米子広域シルバー人材センターは、「福祉・家事援助サービス事業」に取り組んでおられますが、三級や二級の研修や再教育を通じて、

会員の長い生活者としての経験の上に専門知識と技術を重ねて、この事業の充実と信頼性の向上を図ると共に、やる気と働く意欲のある人のために「指定訪問介護事業者」として介護保険にも参画されてはと考えます。  
現在の介護保険制度もこれから想像もつかぬほど充実の方向に変化し、高齢者の生活も当たり前のレベルが変わってくるであろう。

私も今は幸い元気に生活していますが、いつか自立できなくなる日がきます。

「ピンピンコロリ」を目標に、出来るときに自分の時間と能力を自分以外のためにも提供し、社会参加と生き甲斐の充実を求めています。



### 役員交代

鳥取県シルバー人材センター連合会

監事

変更前 杉谷栄之助

変更後 歳岡輝巳

交替年月日

平成十二年六月十二日

### 担当職員の紹介

退職：三月三十一日付

シルバー事業・庶務担当 新治博夫

シニアワークプログラム事業

業務担当（技能講習） 仙田 俐

新任：四月一日付

シニアワークプログラム事業

業務担当（技能講習） 木村壽男

新任：五月一日付

シルバー事業・庶務担当 中曾幸男

### 新規加入団体

正会員

日野町シルバー人材センター

理事長 谷本忠光

事務局長 砂原 修

発足 平成十一年十二月一日

会員数 五十六名

事務所 日野郡日野町黒坂

千二百四十七の一

TEL 〇八五九一七四一〇三三八

FAX 〇八五九一七四一〇三三八



### おしどり 鴛鴦

日野郡日野町根雨地区  
オシドリ観察小屋より



## (社)鳥取県シルバー人材センター連合会正会員名簿

名 称	〒	所 在 地	電 話	FAX	理事長
(社)鳥取市シルバー人材センター	680-0823	鳥取市幸町73	0857-22-0050	0857-22-0051	谷村俊郎
(社)米子広域シルバー人材センター	683-0811	米子市錦町1-110	0859-32-2633	0859-32-5823	川口貞良
(社)倉吉市シルバー人材センター	682-0864	倉吉市鍛冶町1-2971-2	0858-22-0870	0858-23-6101	福井春光
(社)境港市シルバー人材センター	684-0043	境港市竹内町40	0859-45-6661	0859-45-6583	岸本諒二
(社)南部広域シルバー人材センター	683-0351	西伯郡西伯町法勝寺170	0859-66-4011	0859-66-5330	井上虎雄
(社)智頭町シルバー人材センター	689-1402	八頭郡智頭町智頭1795-1	0858-75-0170	0858-75-2366	玉木久夫
用瀬町シルバー人材センター	689-1211	八頭郡用瀬町別府31-1	0858-87-2302	0858-87-2369	和島利明
淀江町シルバー人材センター	689-3402	西伯郡淀江町淀江676-2	0859-56-6200	0859-56-6205	高野邦親
北条町シルバー人材センター	689-2103	東伯郡北条町田井46-2	0858-36-4527	0858-36-5056	牧田邦俊
中山町シルバー人材センター	689-3111	西伯郡中山町赤坂766-1	0858-49-3012	0858-49-3013	中井雅由
郡家町シルバー人材センター	680-0463	八頭郡郡家町宮谷254-1	0858-72-0021	0858-72-2793	漆原勝時
国府町シルバー人材センター	680-0142	岩美郡国府町麻生4-2	0857-22-1880	0857-22-1889	川上嗣夫
江府町シルバー人材センター	689-4403	日野郡江府町久連7-1	0859-75-2942	0859-75-3900	竹内晋
岩美町シルバー人材センター	681-0003	岩美郡岩美町浦富1041-1	0857-72-2511	0857-72-2511	中島淳
東伯町シルバー人材センター	689-2352	東伯郡東伯町浦安152-3	0858-52-1001	0858-53-2035	米田義人
大栄町シルバー人材センター	689-2205	東伯郡大栄町瀬戸36-2	0858-37-4522	0858-37-4532	竹歳邦安
羽合町シルバー人材センター	682-0712	東伯郡羽合町上浅津123-2	0858-35-4130	0858-35-4130	磯江末夫
赤碕町シルバー人材センター	689-2501	東伯郡赤碕町赤碕1113-1	0858-55-1124	0858-55-1124	小泉忠好
日野町シルバー人材センター	689-5131	日野郡日野町黒坂1247-1	0859-74-0338	0859-74-0338	谷本忠光

## (社)鳥取県シルバー人材センター連合会賛助会員名簿

名 称	所 在 地	電 話	名 称	所 在 地	電 話
鳥取市	鳥取市尚徳町116	0857-22-8111	大栄町	東伯郡大栄町由良宿423-1	0858-37-3111
倉吉市	倉吉市葵町722	0858-22-8111	東伯町	東伯郡東伯町徳万591-2	0858-52-2111
米子市	米子市加茂町一丁目1	0859-22-7111	西伯町	西伯郡西伯町法勝寺377-1	0859-66-3111
境港市	境港市上道町3000	0859-44-2111	会見町	西伯郡会見町天萬558	0859-64-2211
国府町	岩美郡国府町町屋305-1	0857-39-0555	岸本町	西伯郡岸本町吉長37-3	0859-68-3111
岩美町	岩美郡岩美町浦富675-1	0857-73-1411	日吉津村	西伯郡日吉津村日吉津872-15	0859-27-0211
郡家町	八頭郡郡家町郡家493	0858-76-0201	淀江町	西伯郡淀江町西原1129-1	0859-56-3111
用瀬町	八頭郡用瀬町用瀬832	0858-87-2111	中山町	西伯郡中山町赤坂66	0858-58-6111
智頭町	八頭郡智頭町智頭2072-1	0858-75-4111	江府町	日野郡江府町江尾475	0859-75-2211
羽合町	東伯郡羽合町久留19-1	0858-35-3111	赤碕町	東伯郡赤碕町赤碕1142-3	0858-55-0111
北条町	東伯郡北条町土下112	0858-36-3111			

### お知らせ

#### ・投稿募集

俳句、短歌、川柳、会員の声  
俳句、短歌、川柳は二句(首)まで  
投稿ご希望の方は左記までご連絡をお願いいたします。

米子市錦町一丁目二二

(社)鳥取県シルバー人材センター連合会

郵便番号 六八三〇八一

電話番号 (〇八五九)三七二五三一

FAX番号 (〇八五九)三七二五三七

### あとがき

昨年八月に創刊号を発行して早や一年が経過し、残暑を迎えて第二号を発行する運びとなりました。

ご投稿を頂きましたシルバー人材センター並びに会員等の皆様方に感謝申し上げます。今後とも、ご投稿にご協力を得ながらより充実した紙面となるよう努力してまいりたいと考えております。

格別のご意見、ご支援をお願いします。

#### 会報 たっぷり 第3号

平成12年8月1日 8月号発行

発行：社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

所在地：〒683-0811 鳥取県米子市錦町1丁目22番地

電話：0859-37-2531

FAX：0859-37-2537

印刷：ニシキ印刷(株) 鳥取県米子市灘町3-150

電話：0859-32-2250